

## 「防災に関する特別世論調査」の概要

平成 22 年 1 月 21 日  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,944 人 (64.8%)
	調査期間	平成 21 年 11 月 26 日～12 月 6 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	国民の防災意識の現状及び変遷について把握し、周知することにより、国民の防災意識の向上を図り、実践的な行動を促す。	
調査項目	1 自然災害の被害に対する不安 2 耐震補強工事の実施状況 3 大地震に備えてとっている対策 4 風水害に備えてとっている対策 5 ハザードマップの活用状況・意向	
調査実績	地震防災対策に関する特別世論調査(平成 19 年 10 月,平成 17 年 8 月) 防災に関する世論調査(平成 14 年 9 月,平成 9 年 9 月,平成 7 年 9 月, 平成 3 年 7 月,平成元年 7 月,昭和 62 年 8 月,昭和 59 年 9 月) 防災と情報に関する世論調査(平成 11 年 6 月)	

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

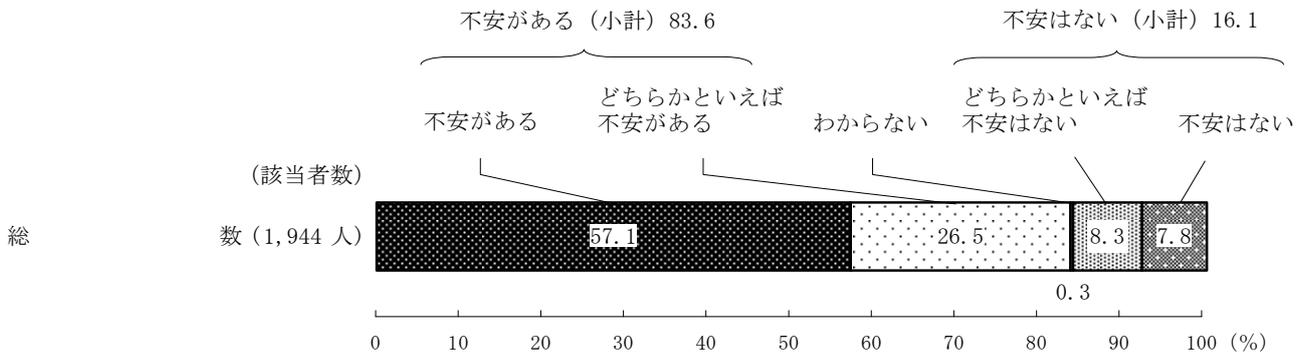
内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

# 1 自然災害の被害に対する不安

平成 21 年 12 月

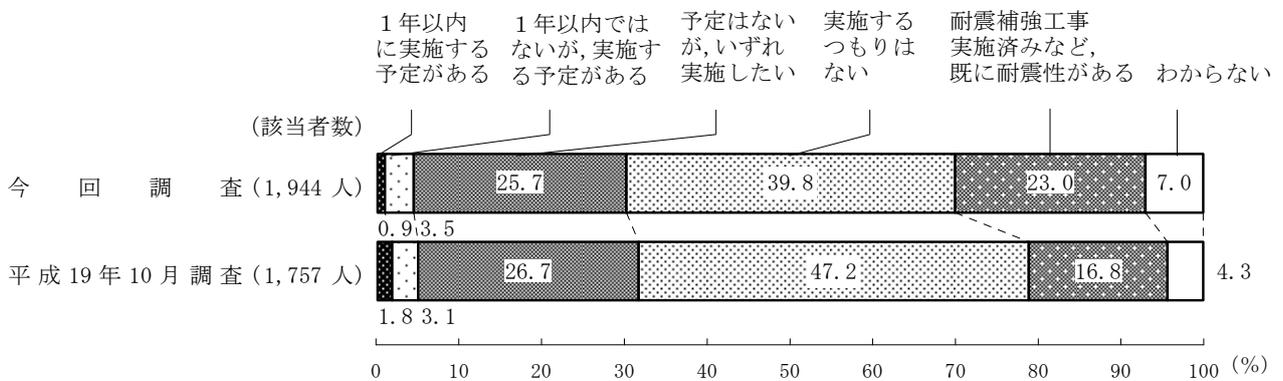
・不安がある（小計）	83.6%
・不安がある	57.1%
・どちらかといえば不安がある	26.5%
・不安はない（小計）	16.1%
・どちらかといえば不安はない	8.3%
・不安はない	7.8%



# 2 耐震補強工事の実施状況

## (1) 耐震補強工事の実施状況

	平成 19 年 10 月	平成 21 年 12 月
・ 1 年以内に実施する予定がある	1.8%	→ 0.9% (減)
・ 1 年以内ではないが、実施する予定がある	3.1%	→ 3.5%
・ 予定はないが、いずれ実施したい	26.7%	→ 25.7%
・ 実施するつもりはない	47.2%	→ 39.8% (減)
・ 耐震補強工事实施済みなど、既に耐震性がある	16.8%	→ 23.0% (増)



(注) 平成19年10月調査では、「危険な住宅については、耐震補強工事を行って安全にすることが考えられます。あなたは、あなたのお住まいについて耐震補強工事を実施するつもりがありますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

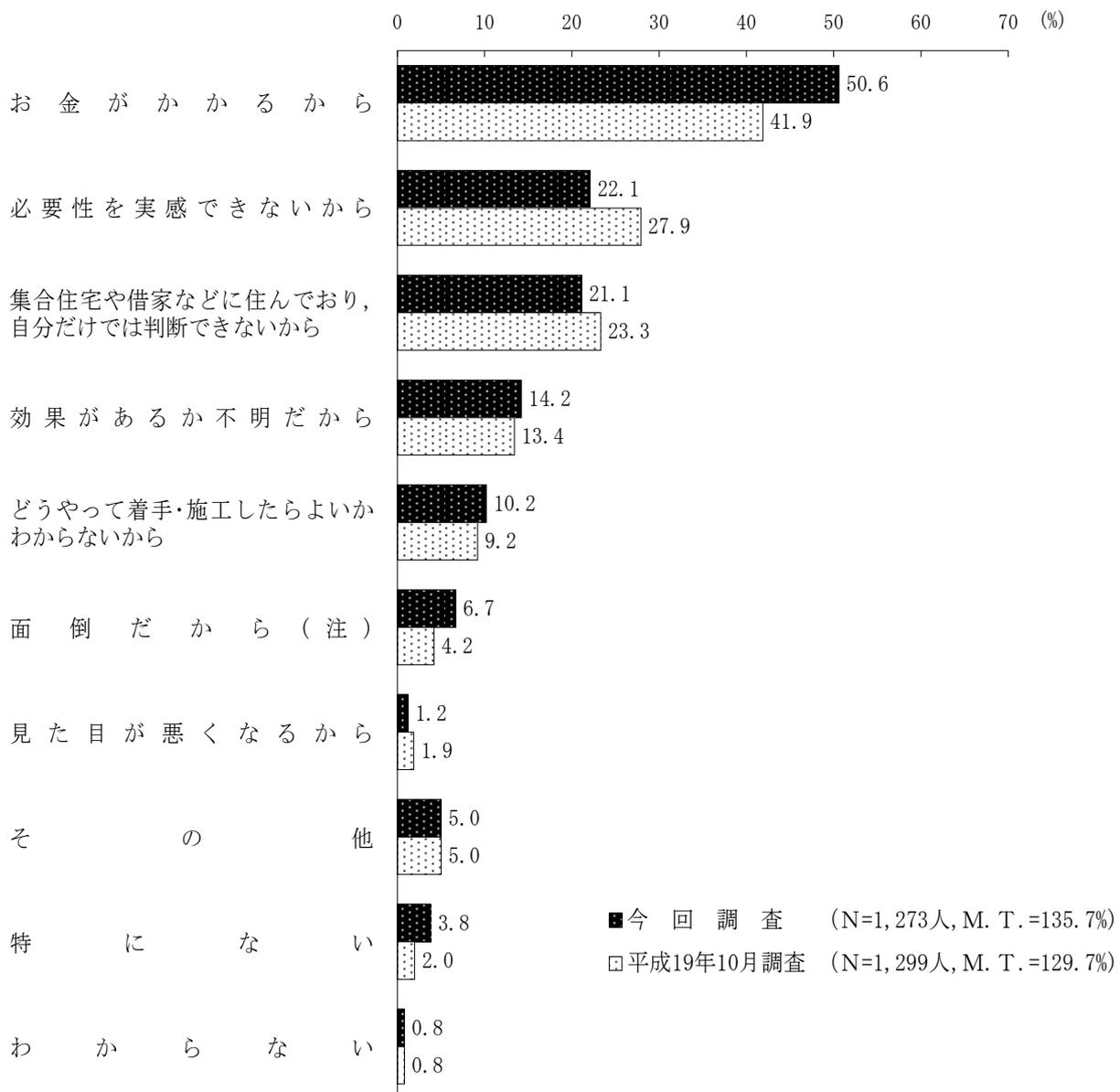
(耐震補強工事について、「予定はないが、いずれ実施したい」「実施するつもりはない」を挙げた者(1,273人)に)

(2) 耐震補強工事の実施予定がない理由

(複数回答、上位4項目)

	平成19年10月		平成21年12月
・お金がかかるから	41.9%	→	50.6% (増)
・必要性を実感できないから	27.9%	→	22.1% (減)
・集合住宅や借家などに住んでおり、自分だけでは判断できないから	23.3%	→	21.1%
・効果があるか不明だから	13.4%	→	14.2%

(耐震補強工事について、「予定はないが、いずれ実施したい」, 「実施するつもりはない」と答えた者に、複数回答)



(注) 平成19年10月調査では、「面倒くさいから」となっている。

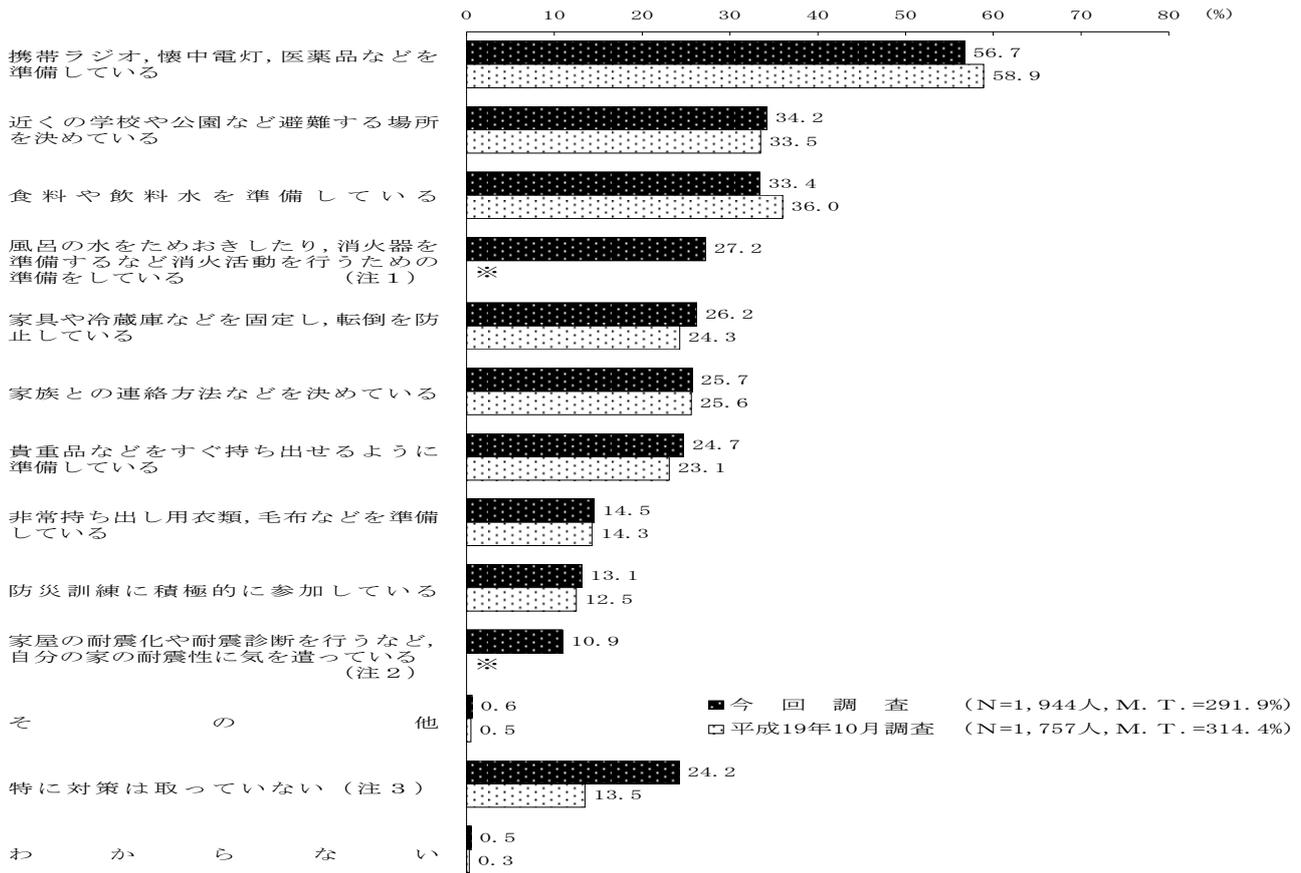
### 3 大地震に備えてとっている対策

#### (1) 大地震に備えてとっている対策

(複数回答、上位3項目)

	平成19年10月	→	平成21年12月
・携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	58.9%		56.7%
・近くの学校や公園など避難する場所を決めている	33.5%		34.2%
・食料や飲料水を準備している	36.0%		33.4%
・特に対策は取っていない	13.5%		24.2%

(複数回答)



(注1) 平成19年10月調査では、「いつも風呂の水をためおきしている」27.6%、「消火器や水をはったバケツを準備している」24.0%となっている。

(注2) 平成19年10月調査では、「自分の家の耐震性を高くしている」10.9%、「耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している」4.8%、「ブロック塀を点検し、倒壊を防止している」4.7%となっている。

(注3) 平成19年10月調査では、「特に対策は取っていない」を選択肢として提示していない。

※: 調査をしていない項目

[参考] 大地震に備えてとっている対策 (過去の調査)

(複数回答)

調査年	人数	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している (%)	食料や飲料水を準備している (%)	近くの学校や公園など避難する場所を決めている (%)	いつも風呂の水をためおきしている (%)	家族との連絡方法などを決めている (%)	家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している (%)	消火器や水をはったバケツを準備している (注2) (%)	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している (%)	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している (%)	防災訓練に積極的に参加している (%)	自分の家の耐震性を高くしている (%)	耐震診断を行い、自分の家の危険性を把握している (%)	ブロック塀を点検し、倒壊を防止している (%)	その他 (%)	特にない (%)	わからない (%)	計 (M.T.) (%)
平成19年10月調査	1,757	58.9	36.0	33.5	27.6	25.6	24.3	24.0	23.1	14.3	12.5	10.9	4.8	4.7	0.5	13.5	0.3	314.4
平成17年8月調査	1,863	49.2	25.6	28.7	21.5	19.3	20.8	23.3	20.3	11.0	8.1	6.5	3.2	3.3	0.4	29.7	0.6	271.4
平成14年9月調査	2,155	46.6	18.6	16.7	19.9	12.8	14.8	22.3	21.2	9.5	5.0	6.5	※	3.2	0.3	31.0	0.1	228.3
平成11年6月調査	2,122	50.2	19.1	21.4	21.3	14.8	13.9	21.4	20.7	11.0	5.8	5.5	※	2.3	0.3	34.0	0.5	242.4
平成9年9月調査	2,218	57.9	21.8	21.4	27.9	16.5	14.0	26.6	26.5	12.9	6.8	5.6	※	3.9	1.3	23.3	1.9	268.3
平成7年9月調査	7,232	58.1	23.3	20.6	27.7	16.1	12.7	26.6	27.4	14.3	5.0	4.9	※	3.1	1.1	26.3	0.7	267.6
平成3年7月調査	2,268	40.7	10.8	15.5	22.2	9.7	8.5	26.1	23.5	※	6.0	5.0	※	3.7	0.3	39.0	0.8	211.8
平成元年7月調査	2,322	45.9	11.2	22.7	24.9	※	8.2	33.7	24.1	※	6.7	5.2	※	4.6	0.3	30.4	0.5	218.3
昭和62年8月調査	2,370	39.2	11.4	15.3	19.3	※	5.8	21.6	23.4	※	5.1	3.0	※	2.0	0.2	40.5	0.5	187.3
昭和59年9月調査(注1)	2,442	※	※	18.0	24.3	※	6.8	31.6	※	※	4.0	※	※	2.7	2.0	41.6	0.9	154.9

(注1) 昭和59年9月調査では、このほかに「非常持出品を準備している」が23.0%ある。

(注2) 平成11年9月調査までは、「消火器や三角バケツを準備している」となっている。

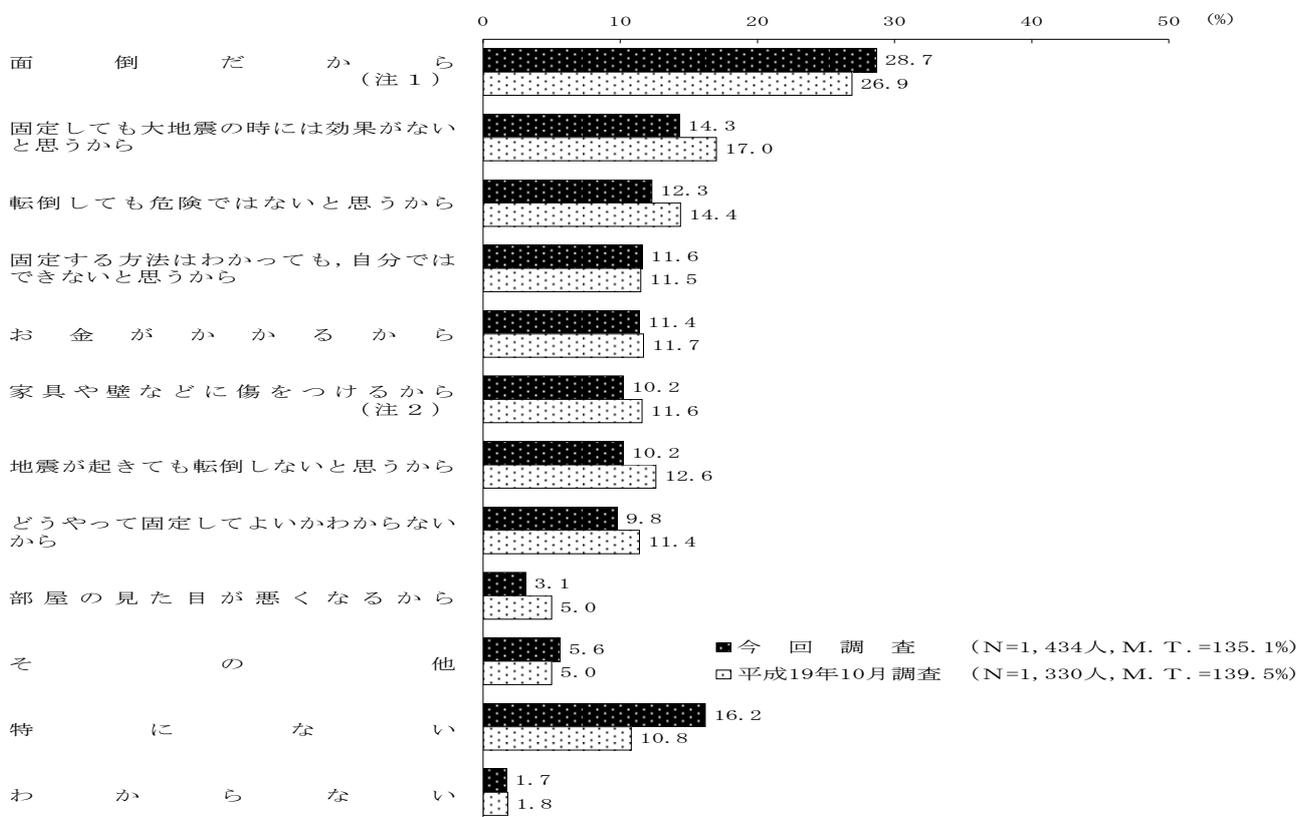
（「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」を挙げなかった者（1,434人）に）

（２） 家具や冷蔵庫などを固定しない理由

（複数回答、上位8項目）

	平成19年10月	平成21年12月
・面倒だから	26.9%	28.7%
・固定しても大地震の時には効果がないと思うから	17.0%	14.3% (減)
・転倒しても危険ではないと思うから	14.4%	12.3%
・固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから	11.5%	11.6%
・お金がかかるから	11.7%	11.4%
・家具や壁などに傷をつけるから	11.6%	10.2%
・地震が起きても転倒しないと思うから	12.6%	10.2% (減)
・どうやって固定してよいかわからないから	11.4%	9.8%
・特にな	10.8%	16.2% (増)

（「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」を挙げなかった者に、複数回答）



（注1）平成19年10月調査では、「面倒くさいから」となっている。

（注2）平成19年10月調査では、「家具等や壁に傷をつけるから」となっている。

〔参考〕家具や冷蔵庫などを固定しない理由（過去の調査）

（「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」を挙げなかった者に、複数回答）

	該当者数	面倒くさいから	固定しても大地震の時には効果がないと思うから	転倒しても危険ではないと思うから	地震が起きても転倒しないと思うから	お金がかかるから	家具等や壁に傷をつけるから	固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから	どうやって固定したらよいかわからないから	部屋の見た目が悪くなるから	その他	特にな	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年10月調査	1,330	26.9	17.0	14.4	12.6	11.7	11.6	11.5	11.4	5.0	5.0	10.8	1.8	139.5
平成17年8月調査	1,475	24.1	12.8	8.3	8.9	8.4	7.8	10.7	10.5	1.8	5.4	27.7	-	126.4

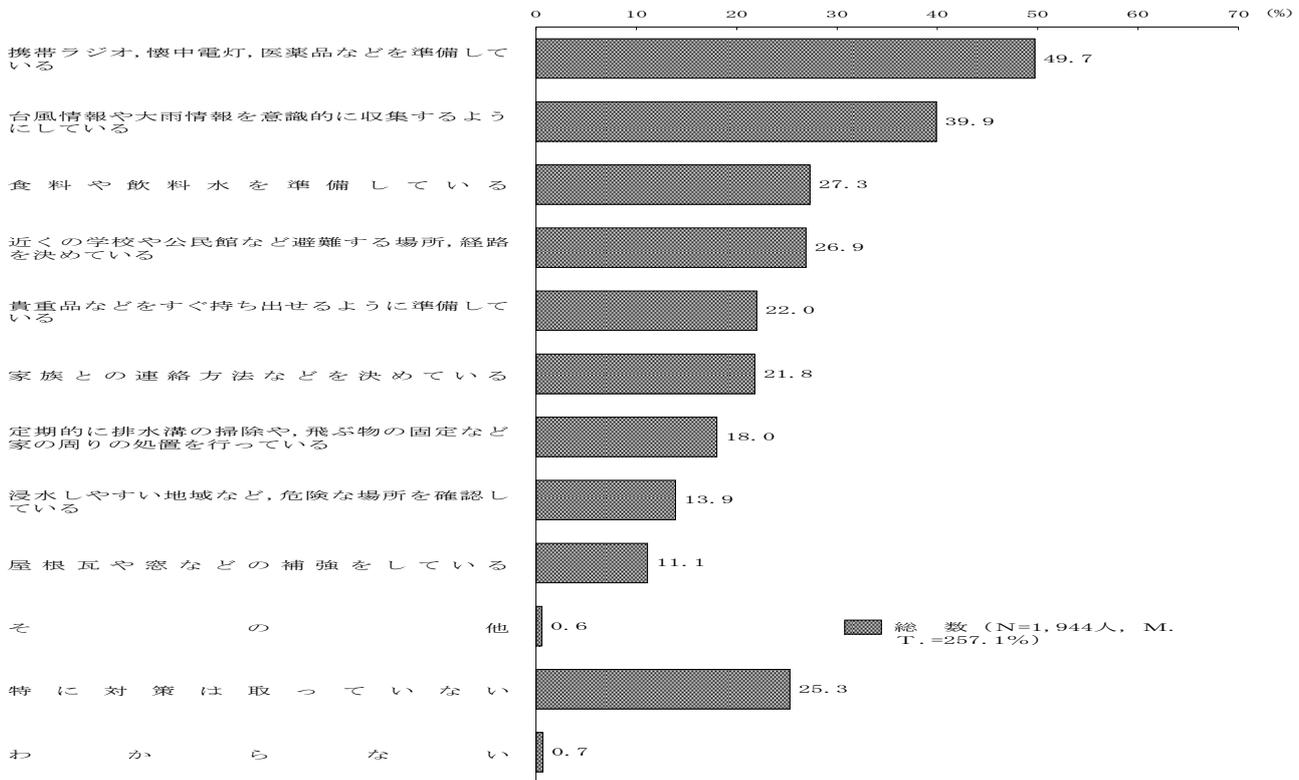
#### 4 風水害に備えてとっている対策

(複数回答、上位4項目)

平成21年12月

- ・携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 49.7%
- ・台風情報や大雨情報を意識的に収集するようにしている 39.9%
- ・食料や飲料水を準備している 27.3%
- ・近くの学校や公民館など避難する場所、経路を決めている 26.9%
- ・特に対策は取っていない 25.3%

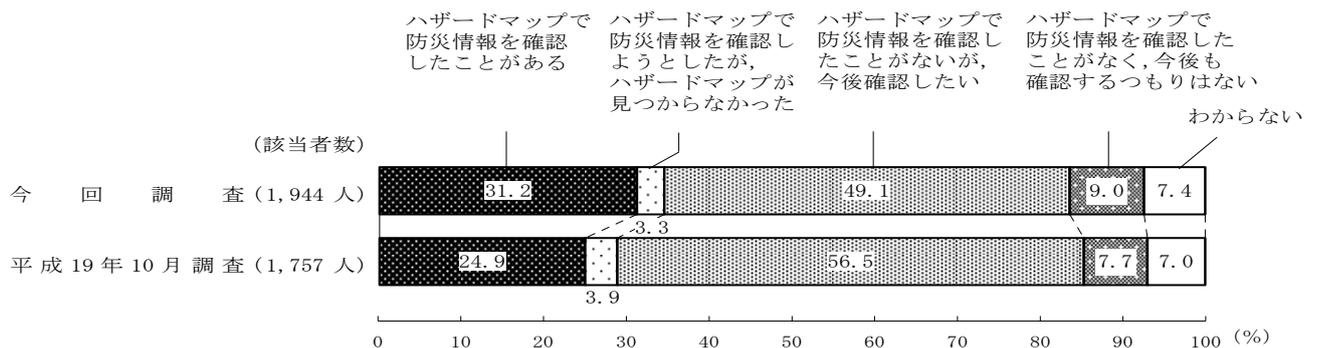
(複数回答)



#### 5 ハザードマップの活用状況・意向

平成19年10月 平成21年12月

- ・ハザードマップで防災情報を確認したことがある 24.9% → 31.2% (増)
- ・ハザードマップで防災情報を確認しようとしたが、ハザードマップが見つからなかった 3.9% → 3.3%
- ・ハザードマップで防災情報を確認したことがないが、今後確認したい 56.5% → 49.1% (減)
- ・ハザードマップで防災情報を確認したことがなく、今後も確認するつもりはない 7.7% → 9.0%





Q3 [回答票18] あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (27.2) (ア) 風呂の水をためおきしたり、消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている
- (26.2) (イ) 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
- (10.9) (ウ) 家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている
- (33.4) (エ) 食料や飲料水を準備している
- (56.7) (オ) 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- (14.5) (カ) 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
- (24.7) (キ) 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
- (25.7) (ク) 家族との連絡方法などを決めている
- (34.2) (ケ) 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- (13.1) (コ) 防災訓練に積極的に参加している
- (0.6) その他 ( )
- (24.2) (サ) 特に対策は取っていない
- (0.5) わからない

(M.T.=291.9)

(Q3で「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」に○が付かなかった方に)

SQ [回答票19] あなたが家具や冷蔵庫などを固定していない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=1,434)

- (9.8) (ア) どうやって固定してよいかわからないから
- (11.6) (イ) 固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから
- (3.1) (ウ) 部屋の見え目が悪くなるから
- (10.2) (エ) 家具や壁などに傷をつけるから
- (28.7) (オ) 面倒だから
- (11.4) (カ) お金がかかるから
- (10.2) (キ) 地震が起きても転倒しないと思うから
- (12.3) (ク) 転倒しても危険ではないと思うから
- (14.3) (ケ) 固定しても大地震の時には効果がないと思うから
- (5.6) その他 ( )
- (16.2) 特になし
- (1.7) わからない

(M.T.=135.1)

Q4 [回答票20] あなたの家では、台風や大雨などに備えて、どのような対策をとっていますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (39.9) (ア) 台風情報や大雨情報を意識的に収集するようにしている
- (13.9) (イ) 浸水しやすい地域など、危険な場所を確認している
- (27.3) (ウ) 食料や飲料水を準備している
- (49.7) (エ) 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- (22.0) (オ) 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
- (11.1) (カ) 屋根瓦や窓などの補強をしている
- (18.0) (キ) 定期的に排水溝の掃除や、飛ぶ物の固定など家の周りの処置を行っている
- (21.8) (ク) 家族との連絡方法などを決めている
- (26.9) (ケ) 近くの学校や公民館など避難する場所、経路を決めている
- (0.6) その他 ( )
- (25.3) (コ) 特に対策は取っていない
- (0.7) わからない

(M.T.=257.1)

(資料4を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。)

**【資料4】**

自治体では、災害により各地域で予測される震度や津波の高さ、浸水が想定される区域、被害の程度、被災時の避難場所や避難経路などの情報（以下、「防災情報」とします。）をわかりやすいように地図上に示した資料（以下、「ハザードマップ」とします。）を作成しているところがあります。このようなハザードマップは、広く地域の住民に知らせることで、住民自らの事前の備えを促し、被害軽減を図ることを期待するものです。

Q5【回答票21】あなたのハザードマップの活用状況について、あてはまるものをこの中から1つだけお答えください。

- (31.2) (ア) ハザードマップで防災情報を確認したことがある
- ( 3.3) (イ) ハザードマップで防災情報を確認しようとしたが、ハザードマップが見つからなかった
- (49.1) (ウ) ハザードマップで防災情報を確認したことがないが、今後確認したい
- ( 9.0) (エ) ハザードマップで防災情報を確認したことがなく、今後も確認するつもりはない
- ( 7.4)        わからない